事務事業評価シート

評価実施年度: 平成28年度

施策 [-6-3 上位の施策名称 空港・港湾の維持・整備

1 事份事業以用の1、105.45	1	事務事業の目的・	概要
-------------------	---	----------	----

_1	1.事務事業の目的・概要 事務事業担当課長 港湾空港課長 奥村 恭 電話番号 0852-22-5228						
	事務事業の名称 港湾整備事業						
B	(1)対象 国内・海外への貨物の移出入を行うため港湾を利用する県内企業						
的	(2) 意図	貨物の運送や荷役が安全で効率的に行えるようにする。					
事業概要	業 概						

2.成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	岸壁の整備率	目標値		93.6	93.6	94.4	96.0	
			取組目標値						%
	式•	岸壁の実施済み延長/岸壁の計画総延長	実績値	90.9					
	定義		達成率	_	_	-	_	1	%
2	七抽夕	信標名 防波堤の整備率	目標値		75.6	80.4	87.7	95.0	
	担际石		取組目標値						
	式・ 定義	防波堤の実施済み延長/防波堤の計画総延長	実績値	67.7					
			達成率	_	_	_	_	ı	%

3事業書

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	622,290	2,130,562
うち一般財源(千円)	149,284	368,562

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含 改善策の実施状況 む)

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・岸壁整備は概ね計画どおり進捗している。・防波堤整備は目標を概ね達成しているものの、岸壁に比べ、整備率が十分でない。

6.成果があったこと (改善されたこと) ・浜田港の防波堤整備により航路泊地の静穏度 が向上しつつある。(東側200mは完成済み、西側200mの内、180mが暫定完成)

- ・松江港の老朽化した岸壁の改良工事がH28年 度に完成予定。
- ・河下港では、H27年度から防波堤海上工事に 着手。

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

岸壁の整備に比べ、防波堤の整備が十分でない。

②困っている状況が発生している「原因」 ・港湾施設整備に多額の事業費を要する。

③原因を解消するための「課題」

限られた予算の中、計画的な施設整備が必要。

今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

限られた予算を有効に活用した港湾整備を行うため、コスト縮減を図りつつ、重要箇所を重点的に整備する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

- ・ 全部は「にないという」 「現状」船舶の大型化に対し、係留施設の整備(岸壁増深)は完了したが、荷役機械等の背後施設の整備が十分でない 「成果が上がったこと」 浜田港福井4号岸壁の増深により、定期コンテナ船の大型化(342TEU型→700TEU型)に対応 ① 【困っている状況】 船舶大型化に伴う荷役作業範囲の拡大に対応出来ないため、浜田港寄港時のコンテナ積みつけ(コンテナの配置)に制約が生じている。 一位役機械の能力不足により、他港に比べ作業時の記録している。
- ③【原因を解消するための課題】荷役機械の大型化(多目的クレーン→ガントリークレーン) ②【状況発生原因】荷役機械の能力不足
- 【今後の方向性】荷役機械(ガントリークレーン)の整備

更新日: 2016/12/15 15:01